

5 「つくばスタイル科」で、つくば次世代型スキルの育成

(1) 「つくば次世代型スキル」に見られる6種12の力

次の世代を担う子供たちが、これからの社会において求められる能力（「21世紀型スキル」）を獲得するための教育内容の充実が、世界各国において取り組まれるようになってきている。つくばスタイル科では、この「21世紀型スキル」を基盤として再編し、児童生徒に身に付けさせたい力として「つくば次世代型スキル」を下の4分類6種12の力として整理・構築した。

思考に関するスキル	問題解決	客観的思考力	主観を交えず、誰もが納得できるように、筋道を立てて多面的に考えを進める力
		問題発見力	あるべき姿と現状のギャップから問題を発見し、問題が発生している真因を突き止める力
	自己マネジメント	自己認識力	自分の状況、感情、情動を知り、行動指針を形成していく力
		自己修正力	依存・受け身から脱し、主体的に自分自身の力で、現状を見直す力
	創造革新	創造力	過去の経験や知識を組み合わせて新しい考えを作り出す力
		革新性	今までの方法、習慣などを改めて新しくしようとする意欲や力
行動に関するスキル	相互作用	言語活用力	言語を用いて思考し、その思考した内容を正確に伝え合う力
		協働力	互いの不足を補い合い、よさを生かし合って課題を解決していく力
手段・道具を活用するスキル	情報ICT	情報活用力	課題や目的に応じて必要な情報を主体的に収集判断・表現処理・創造し、発信伝達できる力
		ICT活用力	ICT機器の特性を知り、自らの課題解決のために道具として役立てる力
世界市民としての力	つくば市民	地域や国際社会への市民性	よりよい社会の実現のために、多様な人々とよき関係をつくり、まわりの人と積極的に関わろうとする意欲や行動力
		キャリア設計力	自己のよさや可能性に気付くとともに、集団の一員としての役割を果たし、将来設計を達成するために主体的に取り組もうとする意欲や力

(2) 学びの3つのステップ「In・About・For」を充実させるための視点

つくば次世代型スキルを育成するために、学びの3つのステップ In（課題を見付ける）・About（情報を集める）・For（何ができるか考え、発信する）を充実させる。指導上の留意点は次の5つである。

① 単元プランを活用する

単元目標、育てる力を確認し、それを達成するための効果的な学習活動を組み立てる。

② 評価規準で単元目標と「育てる力」を確認する

単元目標とつくば次世代型スキルの関係を明確にする。

③ カリキュラムにより構成する課題を意識する

内容課題、単元課題、本質的課題を理解し、学習テーマの本質にせまる。

④ 発信型プロジェクト学習で学習成果を発信する

実社会とつながりをもつことで、社会への興味関心を引き出す。

⑤ 市の教育資源を有効に活用する

先進的ICT、自然・地域素材、大学・研究所等の活用により、学習に深まりをもたせ、より高いレベルの思考活動にする。

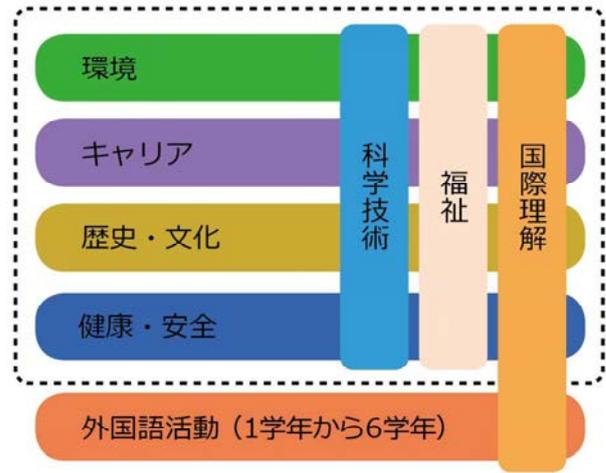
目標 1：総合的な学習の時間の目標の達成
目標 2：つくば次世代型スキルの育成



(3) つくばスタイル科の構成

つくば市では、平成24年度から市内全学校で独自の教育課程「つくばスタイル科」を実施している。「つくばスタイル科」は「総合的な学習の時間」の目標を踏まえつつ、「つくば次世代型スキル」の育成を目標とする新教科であり、発信型プロジェクト学習と外国語活動から構成されている。

発信型プロジェクト学習では、学びのステップ In・About・For を充実させ、市の教育資源を活用しながら、社会力を育成する、7つの内容(環境、キャリア、歴史・文化、健康・安全、科学技術、福祉、国際理解)に係る学習を展開する。



外国語活動（1学年から6学年）では、外国語を使った言語活動を通して、つくば次世代型スキルの「言語活用力(コミュニケーション能力)」を育む。

① つくばスタイル科の内容及び時数

つくばスタイル科では、次のような授業時数を基本とした単元プランが提示されている。実施にあたっては、サテライト・カリキュラムの時数を運用してコア・カリキュラムの充実を図ったり、市の事業や学校行事等との関連を意識したりすることで学習活動の価値を高める工夫がされている。

(学年)	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
(時数)	34h	35h	80h	80h	115h	115h	60h	80h	80h
コア	環境	12h	13h	13h	13h	15h	15h	15h	15h
	キャリア	12h	12h	12h	12h	15h	15h	15h	15h
	歴史・文化					15h	15h	15h	15h
	健康・安全			(10h)★		(10h)★		(10h)★	
サテライト			~35h	~35h	~35h	~35h	~15h	~35h	~35h
外国語活動	10h	10h	20h	20h	35h	35h	外国語(英語)科		
外国語活動(学校裁量)			(0~15h)	(0~15h)	(0~35h)	(0~35h)	←↑つくスタ時数に含まず		

※ 外国語活動，外国語活動（学校裁量），外国語（英語）科については P. 14を参照

★ 健康・安全については，4－3－2の区分で3単元実施する。

○コア・カリキュラム…環境，キャリア，歴史・文化，健康・安全の内容を扱う9年間(5年間)の系統性をもった単元により構成されている。共通の単元プランを学園の実態に応じて「自校化」を図り実施する。

○サテライト・カリキュラム…各学園・学校の実情に合わせて独自の単元が構成されている。「地域発見」，「伝統技術の体験」などの取組等が行われている。

② 発信型プロジェクト学習

(ア) 発信型プロジェクト学習の目標

発信型プロジェクト学習をとおして、つくばの未来を担い、国際社会で活躍するためのスキルを育てるとともに、グローバルな視点をもって、自らの力で問題をよりよく解決していこうとする態度を育て、変化する社会の中で、善き生を実現し、よりよく生きることができるようになる。

(イ) 主なつくばスタイル科の内容(コアカリキュラム)

○環境

身近な自然の変化、自然との関わりを通して、人と環境との関係性を意識し、自然と共生するための人間生活を考えていく。さらに、持続可能な社会の実現に向け環境にやさしい社会づくりについて考えを深めていく活動を行う。

- ・環境かるた
- ・ヤゴ救出大作戦



○キャリア

家族や友達との関わり等、人との関わりにおいて大切なことは何かを考える活動から地域の人々との関わりへと広げていく。活動を通して自分らしさや自分のよさに気付くとともに、体験を通して社会の一員としての役割や仕事の価値等について考える活動を行う。

- ・研究所や企業との連携
- ・仕事調べや職場体験等



○歴史・文化

地域の自慢や世界の国々について調べる活動を通して、世界に誇れる地域とはどのようなものかを考えていく。

日本の最先端を誇る市の研究施設や歴史施設等を知ることにつくばを再発見し、つくばの将来について発信するとともに、他文化理解と共生の充実を図る。

- ・遺跡等訪問
- ・JICA等の研究機関との連携
- ・国際理解集会
- ・筑波山地域ジオパーク調べ等



○健康・安全

日頃から健康や安全を意識した行動がとれるような実践力を高めるとともに、防災グッズや防災マップづくり等の活動を通して自分の身を自分で守るという意識を高める。さらに、避難所等の運営について考えることで地域社会の一員としての役割を考える活動を行う。

- ・避難訓練
- ・防災マップづくり等



資料 2-①

平成30年度 総合教育研究所・教育指導課主催研修講座一覧

記号	講座名	実施月	対象	
A 1	マネジメント講座	6月20日 7月18日 8月21日 8月22日	小中義 100人	教職経験7年～15年の中核教員、各校より1名～3名
A 2	つくばの教育研修講座	4月27日	小中義 90人	教頭1人、新任校長及び市外転入校長 講師 教育長・学校教育監・教育指導課長
A 3	学校ICT教育研修講座	4月13日 5月11日	小中義45人	情報教育担当者各校1人
A 4	美しい日本語で歌おう研修講座	7月30日 8月17日	幼小 49人 小中義45人	幼稚園、小学校希望者 小・中・義教員1人・音楽担当者
B 1	プログラミング教育研修講座	8月1日	小中義	幼稚園、小・中・義教員 希望者（50人程度）
B 2	ICTスキルアップ講座	7月30日 7月31日 8月3日 8月10日	小中義	希望者（全8講座 各20人程度）
C 1	生徒指導研修講座	7月18日	小中義45人	各校1人・生徒指導主事
C 2	特別支援教育研修講座	4月4日 8月20・21日 11月予定	小中義45人	各校1人・特別支援コーディネーター、特別支援学級担任 ※6月は特別支援教育支援員、幼稚園の希望者も含む
C 3	学校図書館研修講座	5月30日	小中義45人	各校1人・司書教諭または学校図書館担当者
C 4	国語科指導法研修講座	8月10日	小中義45人	各校1人・国語科担当者
C 5	算数・数学科指導法研修講座	8月2日	小中義45人	各校1人
C 6	外国語活動・外国語科指導法研修講座	4月20日 8月17日 1月予定	小中義45人	各校1人以上・希望者も可
C 7	理科指導法研修講座	5月18日 7月28日	小中義45人	各校1人・理科担当者 ※7月講座の対象は希望者
C 8	市若手教員（初任者）研修講座	4月5日 7月26日	幼小中義	小中学校義務教育学校新任教諭・新任養護教諭 幼稚園新任教諭
D 1	特別支援教育支援員研修講座	4月4日 6月25日 11月予定	小中義	特別支援教育支援員
D 2	学校図書館司書教諭補助員研修講座	5月30日	小義	学校図書館司書教諭補助員
E 1	キッズプロジェクト外国語講座	8月8日 (夏季休業期間)	小学生	希望者（小学3～4年生 30人程度）
E 2	キッズプロジェクトプレコン講座	8月6日 (夏季休業期間)	小中学生	希望者（各回20人程度）※スタディノートの操作を伴う。
E 3	キッズプロジェクトプログラミング講座	8月1日 (夏季休業期間)	小中学生	希望者（60人程度）
E 4	ペアレントプロジェクト子育て講座	5月30日	保護者	希望者（100人程度）

- ◆ A, C, Dは悉皆研修講座（欠席の場合は欠講届を提出、欠講届は総研HPよりダウンロードし、総研に提出）
- ◆ Bは希望研修講座とし、希望者が受講する。
- ◆ 同じ月に研修が複数ある場合、2回は②、4回は④で示す。
- ◆ Eは児童・生徒、保護者を対象とした希望研修講座とする。
- ◆ 特別研修講座を実施する場合もある。

平成30年度 総合教育研究所主催各種事業一覧

各種事業名	時期	内 容
小中一貫教育指導訪問(総研・指導課)	5月, 12月	第1回目では, 昨年度の課題を踏まえた本年度の各学園の方向性について聞き取りを実施。第2回目では, 本年度の各学園の教育の成果が顕著である授業を参観し, 各学園の取組の検証を図る。
学校ICT教育推進委員 (各学園代表1~2人, 約25人程度)	随時 (約5回程度)	年間約5回程度の研修を実施する。各学園から推進委員を1名選出し, 研修を実施する。 推進委員は各学園の中心的な存在として, ICTを効果的に活用した教育実践を図るとともに, 学園内の教職員のICT活用能力の向上を図る。
つくば市教育評価懇談会 (各学校長, 教頭, 教務主任, 学識経験者, PTA代表等で構成)	12月, 2月	第1回目では, 本年度の各学園の小中一貫教育の方向性について共有を図る。第2回目では, 本年度に各学園で取り組んだ教育の成果の検証と次年度に向けた方向性を検討する。
小中一貫教育意識調査検討部会 (市内学校長, 教頭, 教務主任)	随時 (約5回程度)	児童・生徒, 及び教師を対象として実施している「小中一貫教育に関する意識調査」の設問内容や文言の検討, 協議等を行う。
つくばスタイル科ワーキンググループ (各学園代表1人)	5月22日 1月30日	つくばスタイル科で実施している単元(コア単元)の内容等を見直し, 次年度の単元プラン集の作成を行う。
道徳の教科化に向けたワーキンググループ (各学園から代表道徳主任1人)	5月 8月 12月	新学習指導要領での道徳の教科化に向け, 授業の工夫改善等のポイント等について話し合い, 本市のスタンダードとなる授業スタイルを作成する。
<p>研修の時期等の周知については, 派遣文書等により適宜行う。 教科等協力員, 教育課程検討部員については, 研修に出席できない回がある場合でも, 代理を出席させる必要はない。</p>		

資料 2-②

つくば市児童生徒対象講座

【キッズプロジェクト外国語講座】



(本市で直接雇用している AET)



(AET と英語でコミュニケーション)

【キッズプロジェクトプレゼンテーション講座】



(効果的なプレゼンについての講話)



(チームで考えたプレゼンテーション)

【キッズプロジェクトプログラミング講座】



(外部講師によるプログラミングの講話)



(ロボットの動かし方を協働で試行錯誤)

2019年度 キッズプロジェクトプレコン講座の御案内

これが人をひきつけるプレゼンテーション

【参加無料】

主催：つくば市総合教育研究所
つくば市教育局教育指導課

【講座について】

つくば市総合教育研究所では、児童・生徒向けの研修講座を実施いたします。市内小中学校では毎年プレゼンテーションコンテストを実施しています。そこで、効果的なプレゼンのまとめ方とよりよい発表の方法を学んでいただきたいと思います。

8月2日（金） 第1回 9:30～12:00（1～4年生対象） 9:15 受付
第2回 13:30～16:00（5～7年生対象） 13:15 受付

テーマ：『プレゼンテーションで魅力発信』

プレゼンテーションの方法やスタディノートでのまとめ方などのプレコン入賞を目指してみませんか。

- 〔内 容〕①プレゼンのしかたについて学ぼう！
②プレゼン用の画面の作り方のポイント！
③スタディノートを作ろう！
④プレゼンしよう！
※スタディノートを使います。



〔持参物〕筆記用具、水筒、上履き

●参加対象者 小学生及び中学生（スタディノートの操作が可能であること）

●定 員 各回 20 名 （応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。）

●参加費 無料

●会 場 つくば市総合教育研究所（会場案内図を参照）
つくば市大形 1333-1 Tel 867-1080

●申込受付開始 7月10日（水）～18日（木）

●申込方法 つくば市総合教育研究所のホームページから申し込み専用フォームに必要事項を入力し、お申し込み下さい。自動返信メールはありません。

※ 受講者が決定しましたら、7月22日までに案内メールをお送り致します。

（抽選にもれた方には、メールは配信されません。）

※ 申し込みは必ず保護者が行ってください。

※ 1回の申し込みで1名に限ります。（複数名を記入された場合は無効となります。）複数の申し込みをされる場合、その都度入力が必要です。

★会場までは保護者または御家族の方の送迎をお願い致します。

●申込・問い合わせ先
つくば市総合教育研究所
Tel：029-867-1080（担当：中村）



※受講風景を写真・動画で撮影させていただきます。つくばの広報誌、ホームページ等で掲載させていただきます場合がありますのでご了承ください。



2019年度 キッズプロジェクトプログラミング講座の御案内

つくばキッズプログラミングフェスタ

【参加無料】

主催：つくば市総合教育研究所 つくば市教育局教育指導課

【講座について】

つくば市総合教育研究所では、児童・生徒向けの研修講座を実施いたします。

子供たちが楽しんでいるゲームや日常の中で目にするものの多くがプログラミングによって成り立っています。まずは体験することで、プログラミングがどのようなものか、プログラミングを通してどんなことができるかを知ることによってプログラミング学習への意欲を高められればと思っています。



【講座概要】

8月9日（金） 9:30～12:00 9:15受付

13:30～16:00 13:15受付

テーマ：『プログラミングの魅力発見』

下記から、ご希望のコースを第一希望、第二希望まで選んでください。
対象学年が異なりますので、ご注意ください。

1. マインクラフト 定員：20名 対象：5～9年生

内容：教育版マインクラフトでプログラミング体験をしてみよう！
マインクラフトのキャラクタを使って、みんなでワールドを創りあげます。

2. レゴマインドストーム 定員：20名 対象：7～9年生

内容：レゴのロボット型プログラミング教材を使ったワークショップ。二人1組で基本プログラムを学び、ライントレース、迷路脱出などの課題に挑戦します。

3. ビスケット 定員：10名 対象：1～3年生

内容：キーボードやマウスを使わずに楽しくプログラミングに挑戦。

4. ロボホン 定員：10名 対象：3～6年生

内容：学校でふだん使っているスタディノートで、ロボホンを動かしてみよう！一人1台のタブレットを使って、ロボホンのプログラミングに挑戦します。

※ 8月22日～23日（金）の二日間 *9:30～16:00

5. ラズベリーパイ 定員：10名 共催：筑波大学 open プロジェクト

対象：7～9年生、パソコン操作（キーボード、インターネット検索等）ができ、「TCP/IP」、「ポート番号」などの用語の意味、概念が少しわかること。インターネットサーバー構築に興味があること。

内容：小型のLinuxサーバー（ラズベリーパイ）を1台ずつ配布し、インターネット上でのサーバーの立て方やセキュリティについて学びます。

※受講風景を写真・動画で撮影させていただきます。
つくばの広報誌、ホームページ等で掲載させていただきます場合がありますのでご了承ください。

●持参物 筆記用具、水筒、上履き

●会場 つくば市総合教育研究所
つくば市大形 1333-1 Tel 867-1080

●申込受付開始 7月10日（水）～18日（木） ※5 は 7月16日（火）～26日（金）

●申込方法 つくば市総合教育研究所のホームページから申し込み専用フォームに必要事項を入力し、お申し込み下さい。（自動返信メールはありません。）

※ 受講者が決定しましたら、7月22日までに案内メールをお送り致します。

（抽選にもれた方には、メールは配信されません。）

※ 申し込みは必ず保護者が行ってください。

※ 1回の申し込みで1名に限ります。（複数名を記入された場合は無効となります。）複数の申し込みをされる場合、その都度入力が必要です

★会場までは保護者または御家族の方の送迎をお願い致します。

●申込・問い合わせ先
つくば市総合教育研究所
Tel：029-867-1080 （担当：中村）

